

令和3年度 基本評価調書①			所管部局	保健福祉部 道立病院局	所管課	地域医療課、医務業務課、国保医療課、障がい者保健福祉課、道立病院局	
施策名	地域医療の確保				施策コード	04051	
政策体系(中項目)	安心で質の高い医療・福祉サービスの強化				政策体系コード	1(2)A	
知事公約	C0039 C0040 C0041 C0046	総合戦略	A2211 A2212 A2215 A2216 A2221 A2222 A2223	国土強靱化	-	事務事業数	109
SDGs	3 持続可能な開発目標			総合判定	順調		

【1 Plan】

施策目標	<ul style="list-style-type: none"> ・住み慣れた地域で必要な医療を安心して受けられるよう、医療提供体制の整備を進める。 ・二次・三次救急医療の体系的な整備を進めるとともに、救急医療体制の充実を図る。 ・地域医療を担う医療従事者の確保対策を進め、医師、看護師などの地域偏在を解消する。 					
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化や核家族化、夫婦共働きや意識の変化により、救急医療の需要は増加傾向にあり、医療資源の偏在が著しい本道においては迅速な救急搬送体制が必要。 ・第二次医療圏における医師数(人口10万人当たり)は、一部の圏域を除き全国平均を下回っている。 					
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療提供体制の整備 ・救急医療体制等の体系的な整備 ・医療従事者の確保 ・道立病院の経営 					
予算額(千円)	R 3	643,334,485	R 2	632,018,862	R 1	647,428,791
施策のイメージ						

＜成果指標の達成状況＞ ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	維持	%	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(R5)	達成率	指標判定
初期救急医療の確保市町村割合	目標値		100	100	100	100	100.0%	A
	実績値		100	100	100	-		

設定理由 初期救急医療を担うこととなる第一次医療圏(市町村単位)の、初期救急医療体制の確保割合を計る指標として設定。

分析(主な取組と成果)

休日夜間診療確保対策費補助等により、初期救急医療については全ての市町村において確保されている。

指標名②	維持	圏域数	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(R5)	達成率	指標判定
病院郡輪番制の実施第二次医療圏域数	目標値		21	21	21	21	100.0%	A
	実績値		21	21	21	-		

設定理由 入院医療サービスの完結を目指す医療圏である第二次医療圏の、重症患者の救急医療提供体制の確保状況を計る指標として設定。

分析(主な取組と成果)

市町村に対する地方交付税措置等により、病院郡輪番制については全ての二次医療圏で実施されている。

指標名③	維持	圏域数	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R5)	達成率	指標判定
救命救急センターの整備第三次医療圏域数	目標値		6	6	6	6	100.0%	A
	実績値		6	6	6	-		

設定理由 高度で専門的な医療サービスを提供する医療圏である第三次医療圏の、重篤・重症患者に対する救急医療提供体制の確保状況を計る指標として設定。

分析(主な取組と成果)

救命救急センター事業費(運営費)補助等により、救命救急センターについては全ての三次医療圏で整備されている。

令和3年度 基本評価調書②	施策名	地域医療の確保	施策コード	04051
---------------	-----	---------	-------	-------

【2 Do&Check】

成果指標	指標名	前々年度	前年度	評価年度	評価年度目標値	指標判定
成果指標	初期救急医療の確保市町村割合	100	100	100	100	A
	病院郡輪番制の実施第二次医療圏域数	21	21	21	21	A
	救命救急センターの整備第三次医療圏域数	6	6	6	6	A
目標(指標)の達成状況	<p>成果指標は目標を達成しているが、今後も引き続き、救急医療体制の体系的な整備等について計画した取り組みを着実に進める必要がある。</p> <p>また、全道の人口10万人当たり医療施設従事医師数は増加しているものの、医師の地域偏在の解消には至っていないことから、目標に向けたさらなる取組が必要である。</p>				指標総合判定	A
連携状況	<p>北海道救急業務高度化推進協議会（危機対策課主催）を開催し、救急業務の高度化推進や救急搬送途上における救命効果の向上について協議を行うなど、消防関係者や医療関係者等との連携強化を図る。</p>				連携判定	○
緊急性優先性	<p>国費要望において、「救急医療体制確保のための財政支援の充実」について要望している。また、各期成会要望において、医師確保等のニーズを把握しており、地域及び診療科における医師不足・偏在対策の強化について、国へ要望している。</p>				緊急性優先性判定	○
総合判定の根拠	<p>各取組により初期救急医療から三次救急医療までの体系的な救急医療体制等が維持されているが、今後も引き続き体制が維持されるよう、関係機関と連携を図りながら、社会情勢の変化等を踏まえた取組を行う必要がある。</p> <p>医師の地域偏在解消に向けて、「北海道全体の医師数の維持・確保」、「二次医療圏の医師偏在是正」に係る取組を着実に推進していく必要がある。</p>				総合判定(一次評価)	順調

翌年度に向けた対応方針	対応方針番号	内容
	①	<p>初期救急医療から三次救急医療までの体系的な救急医療体制が、今後も引き続き維持されるよう、計画した取り組みを着実に進め、医師の地域偏在解消に向けて、関係部局、医育大学や関係団体と連携を図りながら、「北海道全体の医師数の維持・確保」、「二次医療圏の医師偏在是正」に係る取組を継続して着実に推進する。</p>

＜二次政策評価＞

前年度二次評価意見	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、施策の目標達成に向け事業内容を精査すること。</p>	対応状況(R3.3時点)	<p>オンラインによる地域医療の体験実習が促進されるよう事業を充実させるほか、SNS等を活用した情報発信の強化により、道内で勤務(研修)する医師の確保を図っていく。</p>
R3年度二次政策評価			

【3 Action】

二次政策評価への対応	
R4施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 地域医療の確保を図るため、三次救急医療を担うドクターヘリや救命救急センターの運営に対し助成等を実施するほか、必要な協議・検討を行いながら、体系的な救急医療体制を維持する。 オンライン会議等により、市町村や医育大学、医師会等の関係機関・団体と引き続き連携を図りながら、医師の地域偏在解消に向け、「医師確保計画」に基づく取組を進める。

令和3年度 補助指標調書①	施策名	地域医療の確保	施策コード	04051
----------------------	------------	---------	--------------	-------

【成果指標の達成状況】

補助指標名①	増加	人/10万人	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
全道の医療施設に従事する医師数（人口10万人あたり）	目標値		246.7	246.7	246.7	246.7	98.5%	B
	実績値		238.3	—	243.1	243.1		
設定理由	総合計画における政策の方向性「将来にわたり安心できる地域医療の確保」の観点から、バランスの取れた地域医療提供体制の整備を測る指標として設定。							
分析（主な取組と成果）								
H28調査と比較して、全国では2.7%の増加に対し、北海道は2.0%の増加に留まっている。道外からの確保、道内に定着させる取組を推進していく必要がある。 ※補助指標である「医療施設に従事する医師数」は、国が2年に一度実施する統計結果。直近の調査は令和2年度に実施しているが、現時点で結果は公表されていない。								

補助指標名②	維持	—	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R5)	達成率	指標判定
医師偏在指標（道全体）	目標値		—	中間区域	中間区域	中間区域	—	—
	実績値			中間区域	—			
設定理由	総合計画における政策の方向性「将来にわたり安心できる地域医療の確保」の観点から、地域医療を担う医師等の地域偏在の解消を測る指標として設定。							
分析（主な取組と成果）								
医師偏在指標は、国において、都道府県別と全国の二次医療圏別に算定しているため、令和3年度の実績は算定不可。								

補助指標名③	減少	—	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R5)	達成率	指標判定
医師偏在指標（二次医療圏）	目標値		—	10圏域の減少	10圏域の減少	10圏域の減少		
	実績値			10圏域	—			
設定理由	総合計画における政策の方向性「将来にわたり安心できる地域医療の確保」の観点から、地域医療を担う医師等の地域偏在の解消を測る指標として設定。							
分析（主な取組と成果）								
医師偏在指標は、国において、都道府県別と全国の二次医療圏別に算定しているため、令和3年度の実績は算定不可。								

補助指標名④			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
	目標値							
	実績値							
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

補助指標名⑤			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
	目標値							
	実績値							
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

